

平成 26 年度  
佐渡市地域公共交通活性化協議会  
事業報告

1. 佐渡市地域公共交通総合連携計画の見直し . . . P 1 ~ 8
2. 観光二次交通サービス . . . P 9 ~ 1 0
3. 公共交通の利用促進 . . . P 1 1
4. 自家用有償運送（福祉、交通空白）の取り組み . . . P 1 2
5. 赤泊・寺泊航路運休中の路線バス運行の確保 . . . P 1 3
6. 車両ラッピング費補助 . . . P 1 4
7. 低床型車両導入費補助 . . . P 1 4
8. 高齢者運賃割引サービス . . . P 1 5

## 1. 佐渡市地域公共交通総合連携計画の見直し

佐渡市地域公共交通総合連携計画にまちづくりや観光振興等の視点を折り込んだ「**地域公共交通網形成計画**」を策定するため、直行便・乗換便の検証や地区内路線の検証を行った。

また、新造高速カーフェリー就航に併せた路線バスとの円滑な接続を検討するため小木港においてアンケート調査を実施した。

### 調査内容

調査項目	調査概要
<b>(1) 直行便・乗換便の検証</b>	
①海府線 利用状況調査 ②内海府線 利用状況調査 ③市民アンケート調査	①海府線 } 乗降データを通年で集積 ②内海府線 } (2・3ページ) ③市民アンケート調査を3月に実施 配布数：4,083通 回収数：2,183通 (4～6ページ)
<b>(2) 地区内路線の検証</b>	
・統合路線 利用状況調査	国仲・金丸線の乗降データを通年で集積 (7ページ)
<b>(3) 観光客等の利便性・周遊性向上等の検討</b>	
・小木港アンケート調査	小木港においてアンケート調査を実施 実施日：8/16・18・23、9/14・15 配布数：772通 回収数：549通 (8ページ)

## (1) 直行便・乗換便の検証

### ① 海府線 通年調査（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日運行実績）

#### ・ 佐渡総合病院行き（岩谷口 6:40 発）

調査項目		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	対前年比
利用者	利用者数	8,948 人	9,976 人	<b>7,759 人</b>	77.8%
	利用者数/便	36.5 人/便	40.7 人/便	31.5 人/便	
鍛冶町～金井間	乗降車数	303 人(3.4%)	296 人(3.0%)	<b>314 人(4.0%)</b>	106.1%
佐渡総合病院	降車数	1,283 人(14.3%)	1,752 人(17.6%)	<b>1,731 人(22.3%)</b>	104.4%

#### ・ 佐渡総合病院帰り（佐渡総合病院 13:57 発）

調査項目		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	対前年比
利用者	利用者数	4,364 人	4,528 人	<b>3,830 人</b>	84.6%
	利用者数/便	17.8 人/便	18.5 人/便	15.6 人/便	
佐渡総合病院	乗車数	668 人(15.3%)	596 人(13.2%)	<b>612 人(16.0%)</b>	102.7%
鍛冶町～金井間	乗車数	247 人(5.7%)	318 人(7.0%)	265 人(6.9%)	83.3%

- 総利用者数は、減少しているが佐渡総合病院乗降車数は微増。
- 総利用者数の減少は、相川高校（1 学年は佐渡高校相川分校）の生徒数減少の影響によるものと推察。



②内海府線 通年調査（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日運行実績）

・佐和田行き（真更川 5:58 発）

調査項目		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	対前年比
利用者	利用者数 利用者数／便	4,277 人 17.5 人/便	3,896 人 15.9 人/便	3,065 人 12.5 人/便	77.7%
両津病院	降車数	283 人(6.6%)	247 人(6.3%)	150 人(4.9%)	60.7%
監督署前	乗り越し人数 監督署からの乗車数	1,098 人 384 人	804 人 444 人	624 人 543 人	77.6% 122.3%
監督署前～ 佐渡総合病院	乗車数 降車数	584 人(13.4%) 490 人(11.5%)	487 人(12.5%) 320 人(8.2%)	495 人(16.2%) 222 人(7.2%)	101.6% 69.4%
佐渡総合病院	降車数	1,362 人(31.8%)	1,253 人(32.2%)	1,124 人(36.7%)	89.7%
佐渡総合病院～佐和田	降車数	260 人(6.1%)	300 人(7.7%)	346 人(11.3%)	115.3%

・真更川行き（佐和田 14:22 発）

		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	対前年比
利用者	利用者数 利用者数／便	3,933 人 16.1 人/便	3,509 人 14.3 人/便	2,539 人 10.3 人/便	72.4%
佐和田～佐渡総合病院	乗車数	202 人(5.1%)	179 人(5.1%)	198 人(7.8%)	110.6%
佐渡総合病院	乗車数	600 人(15.3%)	440 人(12.5%)	364 人(14.3%)	82.7%
佐渡総合病院～ 監督署前	乗車数 降車数	344 人(8.7%) 284 人(7.2%)	328 人(9.3%) 278 人(7.9%)	290 人(11.4%) 193 人(7.6%)	88.4% 69.4%
両津病院	乗車数	160 人(4.1%)	170 人(4.8%)	96 人(3.8%)	56.5%

- 総利用者数、佐渡総合病院乗降者数、両津病院乗降車数のいずれも減少している。
- 往路・復路ともに利用者数の減少幅が大きい。



### ③市民アンケート調査

#### (1) 調査概要

<b>調査手法</b>	市内在住の18歳以上の市民から無作為に抽出した4,000人を対象に郵送による配布・回収を行った。
<b>実施期間</b>	平成27年3月18日(水)～3月31日(火)
<b>回収状況</b>	配布枚数：4,083通 回収枚数：2,183通 (回収率53.5%)
<b>主な調査項目</b>	○運行ルート及び運行間隔の見直しに伴う利用意向について ○日頃のタクシー利用について

#### 調査結果概要

##### ● 運行ルート及び運行間隔の見直しに伴う利用意向について

・本線 (両津～佐和田)	60分間隔、40分間隔では、大きな利用増加はないが、30分間隔での運行とした場合に、65%の増加が見込まれる。	P5グラフAを参照
・本線 (佐和田～相川)	乗り換えが必要であっても本線の運行間隔が30分間隔となる場合は約50%の増加が見込まれる。	P5グラフBを参照
・南線	40分間隔となる場合には約50%の増加が見込まれるが、本線と統合し、環状線化して運行する場合には約80%の増加が見込まれる。	P6グラフCを参照
・小木線	本線との乗継無しでの接続、南線との乗継なしでの接続、いずれの場合も大幅な増加が見込まれる。	P6グラフDを参照

##### ● 日ごろのタクシー利用について

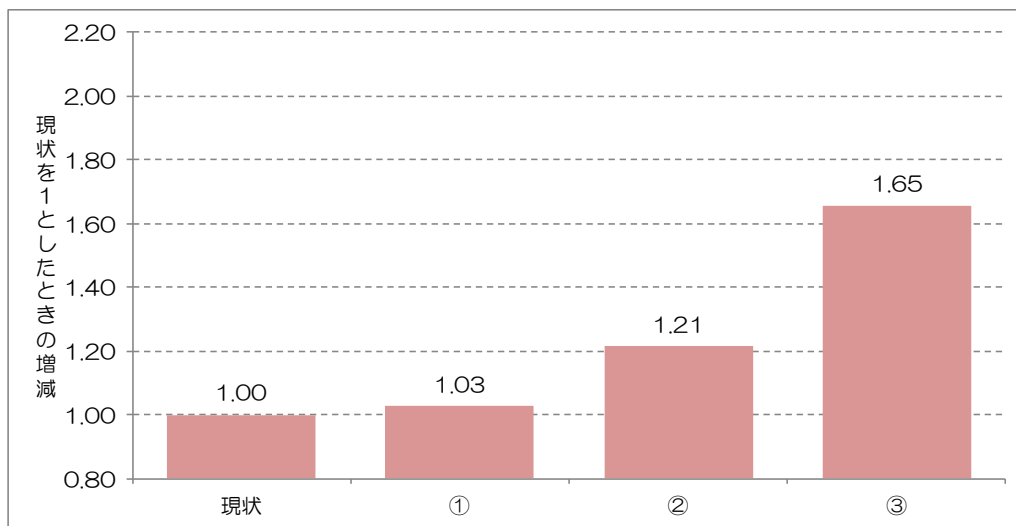
- ・タクシーの利用目的としては、「通院利用」が約半数、そのほかは「飲酒時の利用」が約25%、「佐渡汽船の利用時」が約25%であった。

アンケート結果抜粋「運行ルート及び運行間隔の見直しに伴う利用意向について」

アンケート結果を用いて、現状の「本線」、「南線」、「小木線」について運行ルートと運行間隔の見直しを行った場合の利用変化を試算した

**A：本線（両津～金井～佐和田） 運行間隔の見直し**

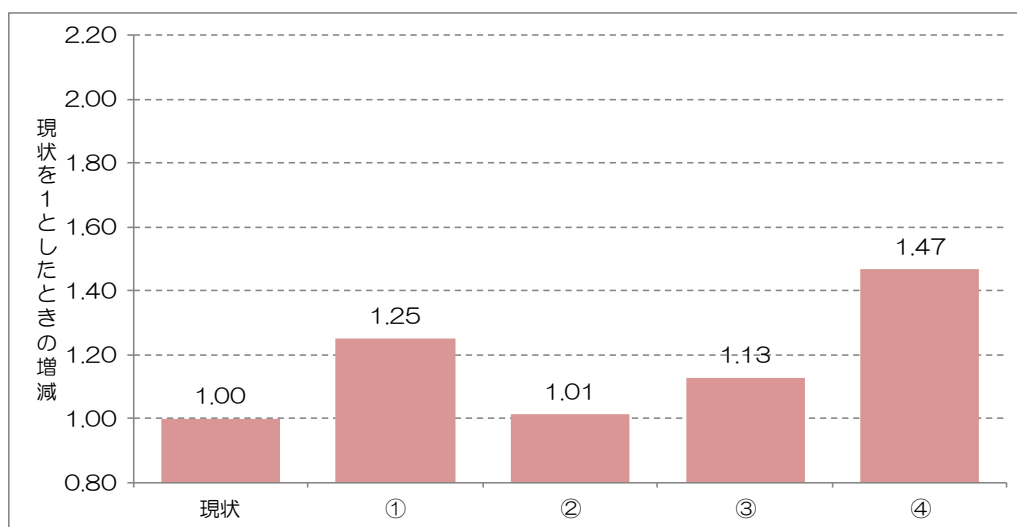
①60分間隔で運行 ②40分間隔で運行 ③30分間隔で運行



現状の本線は最大で約60分の間隔があり、60分間隔ではほぼ現状と変わらず、40分間隔では約20%の増加、30分間隔となると、65%の増加が見込まれる。

**B：本線（佐和田～相川） 運行間隔の見直しと乗り換えの有無による利用の変化**

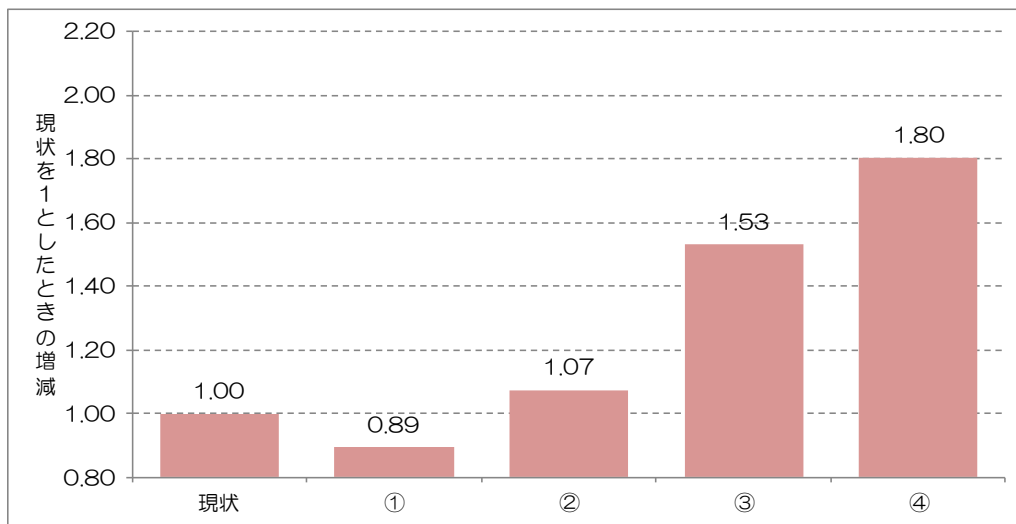
①60分間隔で運行 [直行便]      ②60分間隔で運行 [乗り換え]  
③40分間隔で運行 [乗り換え必要]      ④30分間隔で運行 [乗り換え必要]



乗り換えが発生する60分間隔では現状と変わらず、直行便では25%の増加が見込まれる。また、乗り換えは必要だが30分間隔となる場合は約50%の増加が見込まれる。

**C：南線（両津～畑野～佐和田） 運行間隔の見直しと環状線化による利用の変化**

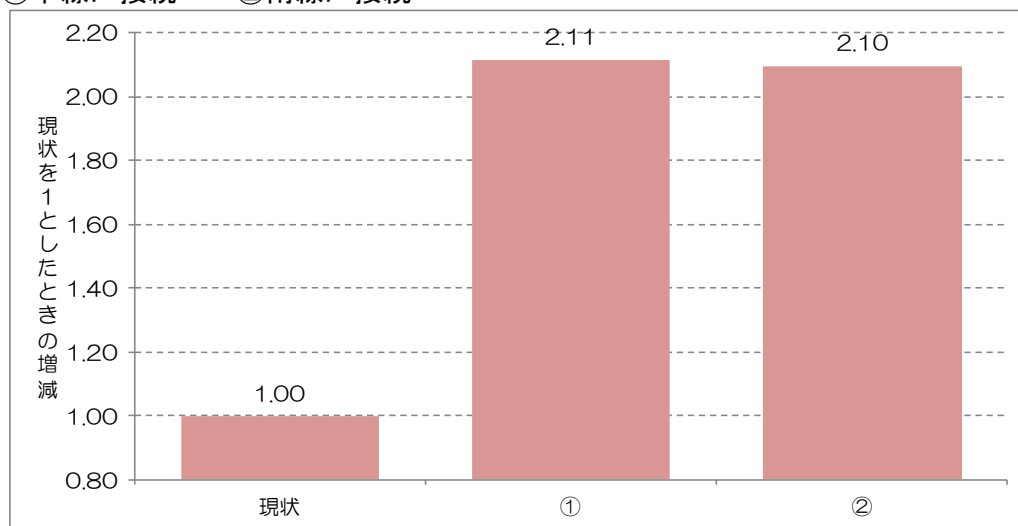
- ①80分間隔で運行    ②60分間隔で運行    ③40分間隔で運行  
 ④本線と環状線で運行



現状の南線は最大で約90分間隔があるが、80分間隔は約10%の減少、40分間隔では約50%の増加が見込まれる。本線との環状線化では、約80%の増加が見込まれる。

**D：小木線（小木～佐和田） 本線・南線への乗継無しでの接続による利用の変化**

- ①本線に接続    ②南線に接続



小木線の本線、南線への接続は、本線、南線とも倍増が見込まれる。

## (2) 地区内路線の検証

### ・国仲・金丸線 通年調査（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日運行実績）

#### ・真野先回り

調査項目		7:26 発	12:00 発
利用者	利用者数 利用者数/便	11,241 人 31.1 人/便	2,409 人 6.7 人/便
佐渡総合病院	乗車数 降車数	1,121 人 397 人	204 人 157 人
吉岡～畑野学校前	乗車数 降車数	129 人 67 人	91 人 35 人
佐渡総合病院前	乗車数 降車数	38 人 412 人	39 人 311 人

#### ・新穂先回り

調査項目		16:17 発	18:12 発
利用者	利用者数 利用者数/便	3,404 人 13.8 人/便	1,972 人 8.0 人/便
佐渡総合病院	乗車数 降車数	128 人 118 人	70 人 25 人
畑野学校前～吉岡	乗車数 降車数	95 人 57 人	64 人 36 人
佐渡総合病院	乗車数 降車数	219 人 443 人	10 人 180 人



- 生活交通ネットワーク計画（地域内フィーダー国庫補助）に記載の目標利用者数 24,000 人に対して 19,026 人（達成率 79.3%）であった。同計画に位置付けた学生の通学確保は達成されたが、これに加えて佐渡総合病院への通院需要の取り込みが必要である。
- 佐渡総合病院へ本線が乗り入れする 4 月以降に利用状況の変化があるか引き続き乗降車数を確認する。



### (3) 観光客等の利便性・周遊性向上等の検討

#### ・小木港アンケート調査概要

調査手法	夏休み及び秋の行楽シーズン(連休)に小木港で配布・回収式のアンケート調査を実施
実施期間	平成26年8月16日(土)、18日(月)、23日(土)、9月14日(日)、15日(祝)
回収状況	配布枚数：772通 回収枚数：549通 (回収率71%)
主な調査項目	○路線バス 小木線(小木～佐和田)について ○路線バス 宿根木線(小木～沢崎)について

#### 調査結果概要

- 延伸・迂回を行った場合の利用意向
  - ・現在の路線バス利用 10%
  - ・小木線相川延伸の利用意向 26%
  - ・宿根木線の延伸・迂回の利用意向 28%  
⇒ 延伸・迂回により約15%の増加が見込まれる。
- 小木直江津航路H26利用実績131,926人(発着なので1/2)×観光利用割合66%  
×15%=6,530人 ≒ 約6,500人の路線バス利用増が見込まれる。

#### アンケート結果抜粋

##### ○滞在の目的と現在の居住地

観光目的が66%、帰省目的が26%であり、全体の92%を占めた。現在の居住地は新潟県内が佐渡市内も含めて16%程度であり、長野県16%、東京都10%、愛知県8%、大阪府6%など、広い範囲から佐渡を訪れている。

##### ○宿泊日数

日帰りは9%であり、ほとんどが宿泊を伴う来訪である。このうち、2泊3日が最も多く36%を占めている。

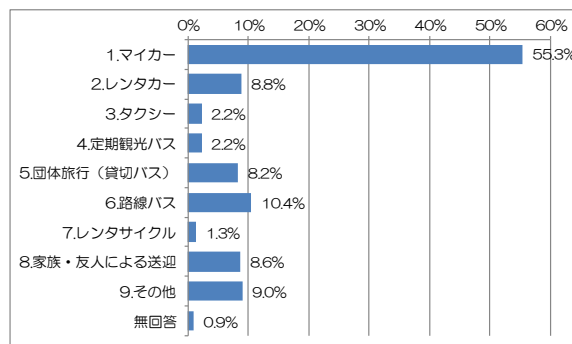
##### ○宿泊先

相川での宿泊が最も多く、50%を占める。また、小木港周辺の南部での宿泊は26%である。

##### ○島内の交通手段

島内の交通手段は、マイカー・レンタカーを利用している人が64%を占めている。

なお、路線バスは10%、定期観光バスは2%となっている。(複数回答)



## 2. 観光二次交通サービス

### 観光二次交通路線の運行

既存路線の一部を主要な観光施設へ延伸または迂回し観光客等の利便性向上、周遊性の向上を図った。  
(上段：平成26年度実績、下段：昨年比増減)

路線	停留所	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
本線	佐渡金山	延	144	415	194	271	999	337	145	158	2,663
			-17	107	79	74	-219	-59	-50	40	-45
	佐渡版画村	延	17	48	26	23	72	16	26	66	294
			6	21	3	1	-25	-23	7	45	35
相川博物館	延	8	33	16	29	61	12	0	5	164	
		3	21	11	8	-25	-14	-7	-2	-5	
	計										3,121 -15
南線	トキの森公園 (休日)	迂	178	654	348	337	403	369	166	232	2,687
			-56	62	92	76	-135	-114	-75	104	-46
	トキの森公園 (平日)	迂	125	384	354	280	897	386	255	77	2,758
			-88	16	120	-9	-160	72	76	-14	13
	歴史伝説館	迂	92	169	72	95	179	104	64	80	855
			-21	23	-20	1	-21	-66	-15	-15	-134
	尾畑酒造前	迂	21	89	15	34	78	43	43	61	384
			-7	34	-35	4	26	-8	-2	29	41
	吉岡臨時	迂	28	44	26	32	35	34	27	29	255
			19	16	14	16	18	14	-2	-11	84
国分寺	迂	19	28	16	15	33	32	13	23	179	
		2	7	-7	-6	8	-8	-17	2	-19	
妙宣寺	迂	14	58	35	17	14	44	31	22	235	
		5	17	3	-24	1	14	5	10	31	
大膳神社	迂	0	13	10	4	6	9	5	7	54	
		-1	8	0	0	1	-7	3	4	8	
	計										7,407 -22
七浦海岸線	尖閣湾達者	延	7	5	12	19	10	2	1	5	61
			4	-25	7	-14	-47	-21	-7	0	-103
	尖閣湾揚島	延	21	47	33	47	32	30	20	12	242
11			16	20	-6	-33	-15	6	-11	-12	
	計										303 -115
小木線	歴史伝説館	迂	74	115	58	87	127	97	49	69	676
			-1	-7	13	-3	-41	-17	-10	7	-59
	ゴールデンパーク	迂	35	70	51	122	172	98	32	15	595
10			-37	37	45	-75	-127	-56	-13	-216	
	計										1,271 -275
合計			783 -131	2,172 279	1,266 337	1,412 163	3,118 -727	1,613 -379	877 -144	861 175	12,102 -427

## フリー乗車券の販売促進

平成26年7月19日より販売箇所を拡充し、フリー乗車券の販売促進に取り組んだ。

これまで	→	拡充後の販売箇所
新潟交通佐渡 本社営業所		新潟交通佐渡 本社営業所
新潟交通佐渡 両津観光案内所		新潟交通佐渡 両津観光案内所
新潟交通佐渡 相川観光案内所		新潟交通佐渡 相川観光案内所
新潟交通佐渡 小木観光案内所		新潟交通佐渡 小木観光案内所
		佐渡汽船 新潟港総合案内所
		佐渡汽船 直江津港総合案内所
		佐渡汽船 カーフェリー船内
		佐渡観光協会
		協賛する市内ホテル・旅館
		新潟交通佐渡路線バス車内 全車で販売

### ○フリー乗車券 券種

券種	販売価格	施設利用券
1日券	1,500円	
2日券	2,500円	500円
3日券	3,500円	1,000円

### ○フリー乗車券販売実績

	平成24年度3月末	平成25年度3月末	平成26年度3月末	増減率 (H25-H26)
1日券	1,721	1,861	2,874	154.4%
2日券	516	757	833	110.0%
3日券	—	197	261	132.5%
合計	2,237	2,815	3,968	140.9%

## 観光二次交通利用促進パンフレット等の作成・配布

○観光二次交通パンフレット製作 17,000部 ポスター製作100部

○トキの森講演案内チラシ製作 2,000部

○フリー乗車券パンフレット（英語版）1,000部

○新潟日報新聞広告掲載

○フリー乗車券販売促進グッズ製作 のぼり70本、卓上のぼり90本

ポスター105枚、車内ポスター50枚

### 3. 公共交通の利用促進

9月20日のバスの日に併せて保育園児を対象とした乗り方教室やワンコイン乗車デーに取り組んだ。

#### バス乗り方教室

保育園児を対象にバス乗り方教室を実施

日時：9月19日（金）

場所：八幡保育園、湊保育園

※9月20日（土）新潟日報掲載（右）

#### ワンコイン乗車デー

日時：9月19日（金）、20日（土）

内容：島内路線バス全線において1乗車100円の特別運賃割引を実施

実績：以下のとおり



《利用実績》 ※現金収入からの按分

100円バス利用者数	5,714人
※前年同時期利用者数	3,356人
利用者数 比較	170.3%

《バスの日実施にかかる経費》

	一般乗合	廃止代替
過去3年の運賃収入額平均2日分	465,828円	522,662円
100円バス2日間の定期券を除く収入額	269,100円	302,300円
差引 協議会補てん額	196,727円	

#### 路線バス利用促進パンフレットの作成・配布

○利用促進パンフレット製作 25,000部

「路線バスを使ったサービスのご案内」として平成27年4月1日から変わる市内の路線バスの運行についてパンフレットを作成、配布した。

配布先：市内全戸配布のほか、佐渡市役所本庁、支所及び行政サービスセンター

配布日：平成27年3月25日嘱託員配布文書により全戸配布

## 4. 自家用有償運送（福祉、交通空白地）の取り組み

交通空白域における輸送サービスを確保するため、平成18年から制度化された自家用有償旅客運送勉強会（福祉、交通空白地）を開催するとともに福祉部署との調整に取り組んだ。

### 実施状況

#### （1）自家用有償旅客運送 勉強会

開催日：平成26年8月27日

会場：トキのむら元気館

講師：北陸信越運輸局新潟運輸支局 輸送・監査部門 運輸企画専門官 佐久間 敏之

参加者：27名（社会福祉協議会、福祉法人、交通事業者、NPO、農業協同組合、県・市の関係部署の職員など）

#### （2）勉強会参加者へのアンケート調査

回収数：18通

主な意見

- ・ 事業者として経済負担が厳しい、負担なく運送できるようになりたい（福祉法人）
- ・ 中間支援組織として地域の課題解決のため情報収集・発信は担えると思う。（NPO）
- ・ 各種団体の得手不得手がそれぞれあると思う。それを補うためには数多くの団体に関わってもらう必要がある。規制緩和も含め検討していただきたい。（社会福祉協議会）

#### （3）自家用有償旅客運送 打ち合わせ

開催日：平成26年9月29日

参加者：北陸信越運輸局 新潟運輸支局、社会福祉課、高齢福祉課、交通政策課

## 5. 赤泊・寺泊航路運休中の路線バス運行の確保

赤泊・寺泊航路運休期間中の交通を確保するため小南線の延伸を試験的に行った。

対象路線：小南線

運行期間：平成 27 年 1 月から 2 月末まで

運行形態：予約時のみ浦津まで延伸

予約方法：2 日前までに新潟交通佐渡(株)へ電話



小南線(小木～新町学校前～畑野十字路～両津)							
往路	浦津	小木	新町学校前	佐渡総合高校前	新穂小学校前	両津港	中等教育学校前
	6:20	6:50	7:39	7:53	7:57	8:14	8:20
復路	中等教育学校前	両津港	新穂小学校前	佐渡総合高校前	新町学校前	小木	浦津
	18:44	18:50	19:07	19:10	19:21	20:08	20:38

※両津港の船のダイヤに接続して運行

### ○周知方法

12 月 25 日発送の囑託員文書により小木・羽茂・赤泊地区の全戸に回覧文書配布により周知するほか、新潟交通佐渡営業所及びバス車内での周知を行った。

### ○利用実績 (2 月末)

	人数	乗車	降車
1 月 18 日	1 人	赤泊埠頭前	両津港
1 月 19 日	1 人	両津港	赤泊埠頭前
2 月 23 日	1 人	赤泊埠頭前	両津港



## 6. 車両ラッピング費補助

3資産を活用した路線バス利用促進の取組に対し、車両ラッピング費用の支援を行った。

補助台数 4台 補助実績 4,000千円(1,000千円×4台)

補助率10/10 補助上限1,000千円



世界遺産ラッピング（本線・相川観光循環）



世界農業遺産ラッピング（南線）



ジハークラッピング A（小木線・宿根木線）



ジハークラッピング B（小木線・宿根木線）

## 7. 低床型車両導入費補助

低床型路線バスの取組導入に対し、購入費用の支援を行った。

補助台数 2台 補助実績1,774千円(887千円×2台)

補助率1/2 補助上限2,000千円

## 8. 高齢者運賃割引サービス

### 事業概要

- (1) 対象者 佐渡市内に在住する75歳以上の方
- (2) 内容 路線バスを1乗車200円で利用可能  
補助券枚数は1年間48枚

### 利用状況の推移

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
登録者	4,447人	4,703人	5,169人
利用者数	2,996人	2,961人	3,118人
利用枚数	53,237枚	54,032枚	54,873枚
利用率(※1)	37.0%	38.0%	36.7%
平均利用枚数(※2)	17.8枚	18.2枚	17.6枚

※1 利用率  $\frac{\text{総利用枚数}}{\text{利用者数} \times 48 \text{枚}}$

※2 平均利用枚数  $\frac{\text{総利用枚数}}{\text{利用者数}}$